

事前評価個表

整理番号	1
------	---

地域（地区）名	ひだか 日高	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	北海道	対象市町村	ひだかちょう 日高町ほか6町
事業実施期間	R2年度～R6年度（5年間）	事業実施主体	道、町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、北海道の中央南西部に位置し、南北に連なる日高山脈とほぼそれに平行して走る海岸線に挟まれた長形状の地理的条件にある。北東は日高山脈を境に上川・十勝地方に、北西は胆振地方にそれぞれ接しており、南は太平洋に面している。</p> <p>本地区の総面積481千haのうち、森林面積は402千ha（森林率84%）となっている。このうち、民有林における人工林の面積は40千ha（人工林率24%）で、トドマツが54%、カラマツが34%を占めており、年齢構成はⅧ年齢級以上が69%と利用期を迎えており、高齢級の人工林の主伐・再造林を行うなど資源の循環を図る必要がある。</p> <p>また、本地区内の林道延長は518kmで、このほかに林道の支派線として森林作業道が整備されているが、今後の森林施策を実施するうえで、更なる路網整備が必要である。</p> <p>本地区内の人工林のうち12千ha（人工林の31%）がⅦ年齢級以下で、適正な保育・間伐を必要とする林齢にあるが、森林所有者の高齢化や後継者不足による森林施策への意欲減退、造林事業の担い手不足等により、手入れが不十分な森林の増加や伐採後の更新が滞ることが懸念されている。</p> <p>このため、森林の有する水源涵養^{かん}や土砂流出防止等の公益的機能の維持増進や高度な発揮を目指し、日高地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づき、計画的に森林整備及び路網整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：13,721 ha</p> <p style="padding-left: 20px;">人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐、更新伐等</p> <p>路網整備：林道開設 延長 5,290m</p> <p>総事業費：4,143,939 千円（税抜き 3,767,217 千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=4.51</p> <p>（総便益（B）=30,226,858 千円、総費用（C）=6,706,438 千円）</p>
評価結果	<p>必要性：利用期を迎えている人工林が多く、今後、主伐後の更新や適正な保育・間伐が求められる地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、本事業を活用した計画的な森林整備及び路網整備により、施業地の集約化や生産コストの縮減が図られることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：本事業の実施により、水源涵養^{かん}や土砂流出防止等の森林の有する公益的機能の維持増進や高度発揮が図られるとともに、施業地の集約化や生産コストの縮減により、森林所有者の森林施策への意欲減退の歯止めにも繋がることから、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：北海道

地域(地区)名：日高^{ひだか}

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	5,886,253	
	流域貯水便益	1,965,381	
	水質浄化便益	7,002,387	
山地保全便益	土砂流出防止便益	7,910,657	
環境保全便益	炭素固定便益	3,033,383	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	3,496	
	木材利用増進便益	964	
	木材生産確保・増進便益	3,926,054	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	142	
	森林整備促進便益	498,141	
総 便 益 (B)		30,226,858	
総 費 用 (C)		6,706,438	
費用便益比	$B \div C = \frac{30,226,858}{6,706,438} = 4.51$		

